

機械器具 58 整形用機械器具  
一般医療機器 骨手術用器械 70962001

## ターゴンF／Tネイルシステム用手術器械

## 【禁忌・禁止】

＜併用医療機器＞「相互作用の項参照」

ターゴンインターロッキングネイルシステム（承認番号：20800BZY00715000）及びターゴンインターロッキングネイルシステム（チタン製）（承認番号：20800BZY00716000）の埋植以外の手術に使用しないこと。[不安定な骨折部内固定のおそれがある。]

## 【形状・構造及び原理等】

## 1. 原材料・組成

ステンレス（直接組織に接触する部位）

## 2. 形状・構造

添付文書に該当する製品の製品番号、製品名、サイズ等については、包装表示ラベル又は本体に記載されていますので、ご確認ください。

- 適用部位をドリリング、一時固定、サイズ測定等を行うことにより、インプラントの最適な固定を得る。

## 【使用目的又は効果】

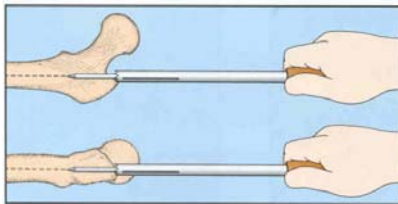
本品は、ターゴンインターロッキングネイルシステム（承認番号：20800BZY00715000）及びターゴンインターロッキングネイルシステム（チタン製）（承認番号：20800BZY00716000）専用の手術器械類で、髄内釘横止め法手術に使用する。

## \*\*【使用方法等】

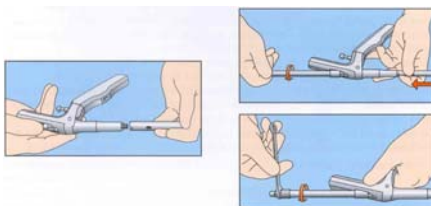
使用前に必ず洗浄滅菌をすること。

大腿骨用ネイル使用方法：詳細は手術手技書にて）

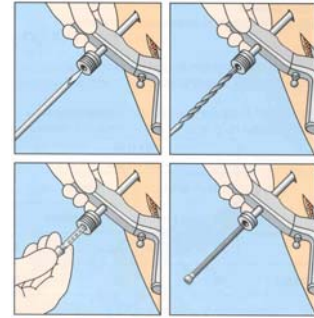
1. ネイル挿入孔の中心に、ホロウリーマー用ガイドを刺し、ホロウリーマーをホロウリーマー用ガイドに追従させてネイル挿入孔を作製する。



2. 個々の症例に適したネイルの選択を行い、ターゲットデバイスに取り付け、ネイルを髄腔に挿入する。

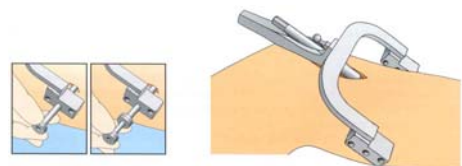


3. 適切なドリルとスリーブを使用して、スクリューの横止め操作を行う。スクリューの横止めが終了した後、ネイルからターゲットデバイスを取り外し、クロージャースクリューを挿入する。

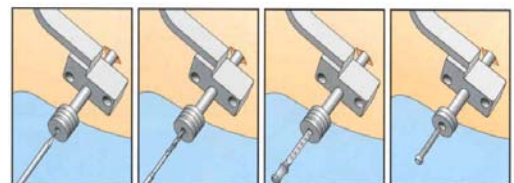


（脛骨用ネイル使用方法：詳細は手術手技書にて）

1. オウルを使用してネイル挿入孔を作製する。
2. 個々の症例に適したネイルの選択を行い、ターゲットデバイスに取り付け、ネイルを髄腔に挿入する。



3. 適切なドリルとスリーブを使用して、スクリューの横止め操作を行う。スクリューの横止めが終了した後、ネイルからターゲットデバイスを取り外し、クロージャースクリューを挿入する。



＜使用方法等に関連する使用上の注意＞

- (1) 手術医は、術前に用意された本品を外観確認し、汚れ、腐食、損傷、欠け傷、かき傷等の異常がないことを確認すること。
- (2) 手術に必要なインプラント及び手術器械が全て揃っていることを確認すること。
- (3) ひどく傷、磨耗している切削器械（ドリル、リーマー等）や駆動器械（ドライバー等）は破損するおそれがあるので、絶対に使用しないこと。
- (4) 使用後は、適切にできるだけ早く洗浄すること。

## 【使用上の注意】

## 1. 相互作用

併用禁忌（併用しないこと）

| 医療機器の<br>名称等  | 臨床症状・<br>措置方法                                   | 機序・危険因子                               |
|---------------|-------------------------------------------------|---------------------------------------|
| 他社製<br>インプラント | 組み合わせが適切に<br>行えず意図した効果<br>が得られないため、<br>併用しないこと。 | 製品仕様の相違によ<br>り、不安定な骨折部内<br>固定のおそれがある。 |

## 2. 不具合・有害事象

以下の不具合・有害事象が発現する可能性がある。

[重大な不具合]

- 不適切な取り扱い、洗浄、管理により破損、変形、腐食、分解、変色、屈曲が生じる可能性がある。
- 金属疲労による機械器具の破損

[重大な有害事象]

以下のような有害事象が発現した場合は、直ちに適切な処置を行うこと。

- 感染症

以上の有害事象の治療のため、再手術が必要な場合もある。

## 【保管方法及び有効期限等】

高温、多湿、直射日光を避けて保管すること。

## 【保守・点検に係る事項】

## (1) 洗浄・消毒

- 洗浄剤は必ず医療用洗剤を使用すること。洗浄剤には pH の高いもの低いもの各々に利点があるため、洗浄方法や目的にあわせて使い分けをすること。
- 手術器械用潤滑剤は、洗浄後は毎回使用すること。潤滑剤は手術器械の作動を滑らかにし滅菌および保管の際の器械の保護にも有益ですが、洗浄により除去されるため、こまめに使用すること。

## 1) 洗浄

- 浸漬洗浄をする。  
血液や汚れが乾いて器械の表面にこびりついてしまった手術器械は、酵素系洗剤などを希釈した血液溶解洗浄液に浸漬し細部に付着した蛋白質系の汚れと汚染微生物を除去してから、一般の器械洗浄を行うこと。
- 分解可能な器械は分解する。  
手術後は直ちにボックスロックやネジ止めの器械は開き、分解できるものは分解をして洗浄すること。閉じたままや組立てたままの洗浄は、汚れがボックスロックや溝に付着したままとなるばかりでなく、器械の錆や腐食の原因になる。その際、小さな部品は紛失しやすいため、取り扱いに注意すること。
- 材質の異なる異種金属の器械同士は電解沈着を防止するため別々に洗浄する。
- 洗浄後は直ちに乾燥させる。  
湿った状態での長時間の放置は器械表面のしみの沈着、錆・腐食の発生の原因となる。
- 蒸留水・脱イオン水の使用。  
洗浄および滅菌に使用する水は蒸留水・脱イオン水を使用して下さい。市水（一般の水道水）に含まれる残留塩素や有機物質が器械表面のしみや錆発生の原因となる。

## (2) 滅菌

推奨される滅菌方法及び条件

滅菌方法：プレバキューム式高圧蒸気滅菌

滅菌条件：134℃、5分

## 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：ビー・ブラウンエースクラップ株式会社

問い合わせ窓口：マーケティング部 TEL(03) 3814-6433

製造元：エースクラップ社、ドイツ

AESCULAP AG